

令和2年度【大江町商工会】経営発達支援計画 事業評価シート

《評価基準》 A：目標を達成することができた(100%以上)  
 B：目標を概ね達成することができた(80~99%)  
 C：目標を半分程度しか達成することができなかった(30~79%)  
 D：目標をほとんど達成することができなかった(30%未満)

I. 経営発達支援事業の内容

山形県 大江町商工会

事業	項目	2年度	実績	2年度		元年度		30年度		3年度	4年度
		目標		実績	評価	実績	評価	実績	評価	目標	目標
1. 地域の経済動向調査【指針③】	(1) 県内統一景況調査の活用	4回	経営指導員が四半期毎に一回ヒアリング調査。(年4回)調査対象は15事業所。集計・分析は山形県連で実施し県連会報へ掲載しているが、商工会報・HPへの掲載なし。	4回	B	4回	B	4回	B	4回	4回
	(2) 山形県経済月例報告による調査及び分析	12回	職員間で刊行物等を回覧し情報共有を図っているが、独自の分析は未実施。	2回	D	2回	D	2回	D	12回	12回
	(3) 小規模事業者の現況調査	30事業所	独自の経営実態調査表を作成し現況調査を実施した。今後、事業計画を作成する際に検討材料として活用していく。	未実施	D	未実施	D	30事業所	A	30事業所	30事業所
2. 経済状況の分析【指針①】	(1) 経営分析のための巡回	40件	巡回指導等において、各種助成金等の周知を行い、事業計画策定に繋げている。持続化補助金19件を支援。また経営状況を分析し、マル経融資の斡旋4件や経営計画策定支援なども行った。	29件	C	23件	B	34件	B	40件	40件
	(2) 巡回指導等による経営状況の分析	12件	ネットde記帳を活用し、いつでも経営状況の分析ができるように処理を行っている。	20件	A	19件	A	21件	A	12件	12件
	(3) 講習会開催の活用	3回 (45事業所)	経営計画策定セミナーは1回開催したが、参加事業所が目標値には到達できなかった。	1回 (8事業所)	C	1回 (11事業所)	C	2回 (7事業所)	C	3回 (45事業所)	3回 (50事業所)
	(4) 収集データを活用した経営状況の分析	6件	金融相談において、売上・原価率・自己資本比率・返済力について、資料の作成を行っている。	4件	B	10件	A	7件	A	7件	8件
	(5) 専門家を活用した経営状況の分析	8回	専門家による個別相談の開催を行い、個社の事業計画策定に向けた支援に活用している。	4回	B	3回	C	9回	A	9回	10回
3. 事業計画策定支援【指針②】	(1) 専門家等を活用した事業計画策定講習会の開催	2回	専門家等を活用した事業計画策定説明会等の開催や専門家派遣、個別指導を行い、事業計画策定の必要性等について説明や策定の指導を行った。	2回	A	2回	A	2回	A	2回	2回
	(2) 事業計画策定件数	3件	持続化補助金(一般型10・コロナ型5・豪雨型4)、県新・生活様式対応支援補助金7の活用について支援した。	26件	A	16件	A	5件	A	4件	4件
	(3) 創業希望者に向けた事業計画策定支援	2回 (3人)	創業予定者についての支援を実施した。	1回 (1人)	C	3回 (2人)	B	4回 (1人)	C	2回 (4人)	2回 (4人)
	(4) 創業計画策定件数	2件	創業予定者についての支援を実施した。	未実施	D	1件	C	1件	C	3件	3件
	(5) 事業承継セミナーの開催	2回 (5人)	集団指導ではなく、個別指導による支援を実施した。	未実施	D	未実施	D	未実施	D	2回 (5人)	2回 (5人)
	(6) 事業継承計画策定支援	3件	事業承継を考える事業者に対し、事業計画策定の必要性等について説明や策定の指導を行った。	3件	A	9件	A	2件	A	3件	3件
4. 事業計画策定後の実施支援【指針②】	(1) 事業計画策定後の進捗管理	8件	経営カルテ等を活用しながら巡回を行い、事業計画策定19件のフォローを行った。	19件	A	13件	A	8件	A	10件	10件
	(2) 策定後のフォローアップ	42件	個別の巡回を重点的に行い、問題の聴き取りや状況確認を行った。	148件	A	71件	A	40件	A	52件	52件
5. 需要動向調査【指針③】	(1) 商品等アンケート調査の活用	1回 3件	コロナ禍により、物産展等の中止が相次ぐ中「寒河江商工業フェスティバル」への参加を促すなど、情報提供を行っている。	1回 1件	B	1回 1件	B	1回 1件	B	1回 5件	1回 5件
	(2) 消費者モニタリング調査による需要動向調査	1回 3件	県外消費者ニーズの把握について実施せず。	未実施	D	未実施	D	未実施	D	1回 3件	1回 3件
	(3) 他機関の需要動向調査における活用	12回 6件	巡回指導等により情報提供は行ってきたが、実数値の把握はできていない。	未実施	D	未実施	D	未実施	D	16回 8件	16回 8件
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業【指針④】	(1) マスメディアへの情報提供支援	4回	おおえブランド事業「日本ーくんあまびえシール・マスクケース新聞記事掲載」実施。	2回	B	5回	A	5回	A	4回	5回
	(2) 物産展・展示会への出展支援	2回 4件	コロナ禍の中、おおえブランド事業として「寒河江商工業フェスティバル」に参加し、経費的から人員的な面まで販路開拓に寄与する支援を行った。	1回 5件	B	4回 7件	A	3回 7件	A	3回 5件	4回 5件
	(3) 出展後のフォローアップ支援	8件	おおえブランド事業による出展後のフォローアップとして、主に山形県商工会連合会主催の販路開拓事業等への参加を促すなど、情報提供を行っている。	2件	C	3件	B	2件	C	10件	10件
	(4) 商工会ホームページ情報更新による支援	2回	商工会ホームページをリニューアルする予定。	未実施	D	未実施	D	未実施	D	3回	4回
	(5) 自社ホームページによる新規取引数	8件	事業者のホームページ改善指導支援については未実施。	未実施	D	未実施	D	未実施	D	8件	8件
	(6) 販路開拓セミナーの開催	2回	11月21日「SNSを活用した販売促進セミナー」実施。受講者9名。	1回	B	1回	B	1回	A	2回	2回

令和2年度【大江町商工会】経営発達支援計画 事業評価シート

事業	項目	2年度	実績	2年度		元年度		30年度		3年度	4年度	
		目標		実績	評価	実績	評価	実績	評価	目標	目標	
Ⅱ. 地域経済活性化事業	(1)大江町産業活性化連絡協議会の開催	2回	おおえブランド実行委員会を1回開催し、おおえの物産味覚まつり実行委員会は新型コロナ禍により中止。「大江町産業活性化連絡協議会」は未実施。	1回	C	3回	B	4回	B	2回	2回	
	(2)特産品開発支援	4件	「おおえブランド事業」の特産品開発(3D立体マスク・おからクッキー)にあたり、アンケート調査などの支援を行った。	2件	B	1件	C	1件	C	4回	4回	
	(3)商店街誘客事業検討会の開催	3回	町内商店街の特色を生かした誘客事業について、現在『町なか交流館』を中心に多様な活動をしており、商店街誘客事業検討会は未実施。	未実施	D	未実施	D	未実施	D	3回	3回	
Ⅲ.経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組												
事業	項目	2年度	実績	2年度		元年度		30年度		3年度	4年度	
		目標		実績	評価	実績	評価	実績	評価	目標	目標	
1. 他の支援機関との連帯を通じた支援ノウハウ等の情報交換	(1)西村山地区商工会間との連帯及び情報交換	12回	西村山地区広域連携協議会に関わる会議等に積極的に参加し、得られた情報については、職員間で共有し、小規模事業者の個別指導の際に活用している。	12回	A	12回	A	12回	A	12回	12回	
	(2)支援機関・金融機関との連帯及び情報交換	1回	「大江町商工業振興懇談会」の開催し、各機関の支援状況等について情報交換を行った。	未実施	D	未実施	A	1回	A	1回	1回	
	(3)行政・外部機関との連帯及び情報交換	4回	従来大江町政策推進課との打ち合わせ会を随時開催し情報共有を図った。日本政策金融公庫・県信用保証協会との連絡会議等で情報交換を行った。	4回	A	4回	A	4回	A	4回	4回	
	(4)県連及び外部支援機関が開催する研修会への参加	6回	経営指導員研修会、経営支援員研修会、各種セミナーに参加して情報共有を図っている。	6回	A	6回	A	6回	A	6回	6回	
2. 経営指導員等の資質向上等	(1)職種別の資質向上	—	職員を対象に、山形県商工会連合会の職員向け研修会、労働保険・社会保険の研修会等へ参加し、資質向上に取り組んでいる。	—	A	—	A	—	A	—	—	
	(2)職員間での情報・知識の共有と蓄積	随時	毎朝職員間でミーティングを行い、本日の業務等を話し合い、お互いの指導・助言内容、情報などを共有し、会員支援に役立っている。	随時	A	随時	A	随時	A	随時	随時	
3. 事業の評価及び見直しをするための仕組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>理事会での評価・見直し方針の決定</li> <li>大江町・地域関係機関等の外部認識者を含めた構成メンバーにより「大江町商工会事業評価委員会」(年2回開催)を設置し、事業の見直しを行う。</li> <li>事業の成果・評価・見直しの結果については、本会ホームページで計画期間中公表する。</li> <li>会員のアンケート調査等の実施により検証し、事業の仕組みを再構築する。</li> </ul>							<ul style="list-style-type: none"> <li>経営発達支援計画の内容について、各担当者により現在の進捗状況の確認及び事業内容の検証を行った。</li> <li>次年度の総会での報告、ホームページでの公表を行う予定である。</li> </ul>				

【総評】	・経営発達支援計画の数値目標を設定した8項目のうち、目標達成率80%以上は4項目、目標達成率30%未満・未実施は4項目であった。										
	目標達成度合	評価	該当項目・内容	2年度	元年度	30年度					
	目標を達成(100%以上)	A評価	2項目	4.事業計画の策定後の実施支援 Ⅲ.支援力向上に向けた取り組み	B	B	B				
	目標を概ね達成(80~99%)	B評価	2項目	2.経営状況の分析 3.事業計画策定支援							
	目標を半分程度達成(30~79%)	C評価	4項目	1.地域の経済動向調査 5.需要動向調査 6.新たな需要の開拓 Ⅱ.地域経済の活性化に資する取組							
目標をほとんど未達成(30%未満)	D評価										